

*本プレスリリースは、アサヒ電子株式会社、TIS 株式会社、株式会社ブリスコラ共同で配信しています。重複して受信されることがありますが、予めご了承ください。



PRESS RELEASE

2018年7月19日

報道関係者各位

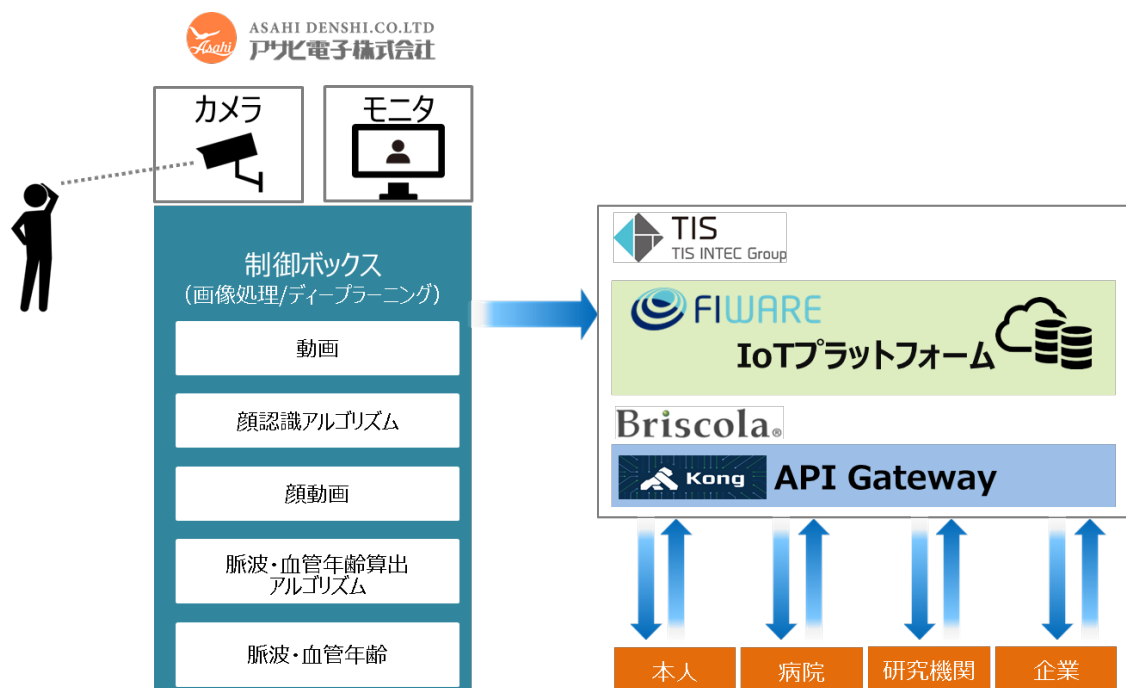
アサヒ電子株式会社
TIS 株式会社
株式会社ブリスコラ

アサヒ電子、TIS、ブリスコラが、 脈波・血管年齢を算出するアルゴリズムとそのデータを 収集・活用する IoT プラットフォーム/API ゲートウェイを共同開発

アサヒ電子株式会社（本社：福島県伊達市、代表取締役社長：菅野 寿夫、以下「アサヒ電子」）と、TIS インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下「TIS」）、株式会社ブリスコラ（本社：東京都港区、代表取締役：末貞 慶太郎、以下、「ブリスコラ」）は、ディープラーニング（深層学習）を活用して、顔動画により脈波や血管年齢を算出する顔認識アルゴリズムと、そのデータを収集する IoT プラットフォームと、そのデータ活用を容易にするための API (Application Programming Interface) ゲートウェイの共同開発を開始します。

本開発は、平成 30 年度福島県ロボット関連産業基盤強化事業に採択されました。アサヒ電子、TIS、ブリスコラの 3 社は、実用化に向けて福島県内での実証事業を通じて、医療機関との連携を進め、企業内や公共施設や介護施設に導入を推進していきます。

<3 社による共同開発の概要>



※本人には、LINE 等のメッセージアプリで通知

従来、脈波や血管年齢などのバイタルデータの取得には、専用の検査機やウェアラブル端末を用いて有線による接触測定が必要でした。しかし、今回の共同開発する顔認識アルゴリズムを活用すれば、カメラで撮影した顔動画から非接触で、脈拍やストレスレベルや疲労度などが取得できる脈波や血管年齢などの各種バイタルデータを容易かつリアルタイムに算出できます。

さらに、このデータを、クラウド上の IoT プラットフォームにリアルタイムに蓄積し、API を介して本人へ通知することや、外部の企業や病院、大学、研究機関などと情報連携させることで、日々の健康状態の把握や疾病の予防や健康増進を図る仕組みの実現が可能になります。API ゲートウェイでは、このような API 連携を実現するために必要な高度なセキュリティやトラフィック制御などの管理機能を提供します。

<背景>

近年、AI・ディープラーニング技術を用いた開発が進み技術水準が向上したことで、私達の日常の身近な商品やサービスに、これらの技術が組み込まれ利活用が始まっています。また、医療分野においても AI やディープラーニングは、従来の高価な機器を活用した検査や面倒な診断を安価かつ簡単に行える基盤技術としての活用が期待されています。

今回の共同開発では、ディープラーニングを用いてカメラで撮影した動画から顔画像や脈波や血管年齢などの各種バイタルデータを IoT プラットフォームに送信し、API を介して LINE ボット^{※1}より本人へバイタルデータを通知します。今後の活用として、IoT プラットフォームにデータを蓄積することで、病院や大学、研究機関などで共有して活用することを見込んでいます。

<共同開発における各社の役割>

- ・アサヒ電子株式会社

ディープラーニングを活用した顔認識アルゴリズムを開発して、脈波等、各種バイタルデータをリアルタイムに収集しクラウドへ送信するプログラムを開発します。

- ・TIS 株式会社

EU（欧州連合）の次世代インターネット官民連携プログラム（FI-PPP^{※2}）で開発・実装された基盤ソフトウェア「FIWARE」^{※3}を活用して、各種バイタルデータを蓄積する IoT プラットフォームを開発します。

- ・株式会社ブリスコラ

IoT プラットフォームに収集された顔データや脈波・血管年齢データを、API を通じて個人認証やヘルスケアなどの様々なサービスに提供します。サービスごとに適切なセキュリティレベルを担保するために API ゲートウェイに Kong^{※4}を使用してサービスを提供します。

※1：LINE が提供するチャットボットプラットフォーム「Messaging API」を使用したサービス。

※2：次世代インターネット官民連携プログラム（FI-PPP）：EU の第7次研究枠組計画における ICT プロジェクトとして、2011 年から 5 年計画で次世代インターネット官民連携（FI-PPP）プログラムを実施。

※3：FIWARE：FI(Future Internet)WARE（次世代インターネット基盤ソフトウェア）。FI-PPP が次世代インターネット技術における欧州の競争力強化と、社会・公共分野のスマートアプリケーション開発を支援するために、開発した基盤ソフトウェア。

公共サービスを提供する自治体や企業などの業種を越えたデータの利活用やサービス連携を促すためのオープンソース・ソフトウェア（OSS）として開発され、標準化されたオープン API を持つ IoT サービスプラットフォーム。欧州を中心に 25 か国、110 の都市や企業でスマートシティを実現するシステムに活用されている。

参考 URL : <https://www.fiware.org/>

※4 : Kong : オープンソース・ソフトウェア (OSS) では世界で最も多く利用されている API ゲートウェイ。

参考 URL : <https://www.webapi.tokyo/kong-community-edition/>

■アサヒ電子株式会社について

日本に工場を構える EMS 企業=受託生産企業として“Made In Japan”のブランドを守ってきました。電子製品の設計開発から、部品調達、生産工程設計、検査機・治工具作成、製造、修理まで一貫してサポートいたします。詳細は以下をご参照ください。 <https://www.asahi-gp.co.jp/denshi/index.html>

■TIS 株式会社について

T I S インテックグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で 3000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。詳細は以下をご参照ください。

<http://www.tis.co.jp/>

■株式会社ブリスコラについて

株式会社ブリスコラは、デジタルテクノロジー（ビッグデータ、IoT/M2M、センサークラウド、AI 等）を活用した幅広いアプリケーションやサービスを実現するために鍵となる API ソリューションに特化した事業支援会社です。日本有数の企業へのデジタルビジネスコンサルティング会社としても多くの実績があります。 <http://www.briscola.co.jp/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

アサヒ電子株式会社 営業部

TEL : 024-584-2111 E-mail : ad-sales@asahi-gp.co.jp

TIS 株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 浄土寺/橋田

TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp

株式会社ブリスコラ 広報部

TEL : 03-6441-2614 E-mail : press@briscola.co.jp

◆本件に関するお問い合わせ先

アサヒ電子株式会社 営業部

TEL : 024-584-2111 E-mail : ad-sales@asahi-gp.co.jp

TIS 株式会社 戦略技術センター

TEL : 03-5909-4501 E-mail : info-stc@ml.tis.co.jp

株式会社ブリスコラ 広報部

TEL : 03-6441-2614 E-mail : press@briscola.co.jp